

# ついに刊行！

## 美しい文字を書くための本格的なお手本集

（一般社団法人日本書法院創立 30 周年特別企画）

『美しい楷書のお手本』 定価 1,500 円 + 税

『美しい行書のお手本』 定価 1,500 円 + 税

『美しい草書のお手本』 定価 1,500 円 + 税



（B5 版各 140 頁）

### 魅力あふれる 川邊尚風“品格の書”

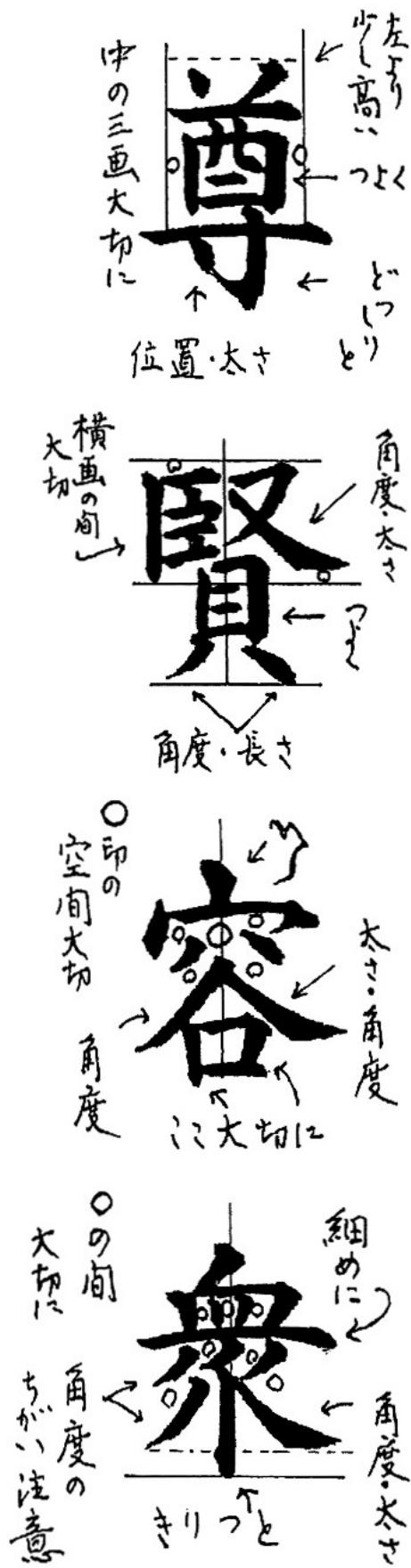
同一語句を【楷書編】【行書編】【草書編】で同時刊行！

基本筆法から詳細な手ほどき「書き方のポイント」まで満載

知道出版 千代田区神田神保町 1-7-3 三光堂ビル 4F 電話 03-5282-3185

空谷傳聲而  
眾賢贊首尊

## 書き方のポイント（四字抜粹）



読み  
尊し賢而容れ衆 『論語』子張 「子張曰 異乎吾所一聞 君子尊レ賢而容レ衆 嘉レ善而矜レ不能」 (子張曰く、吾が聞く所に異なり。君子は賢を尊びて衆を容れ、善を嘉して不能を矜む)

通釈  
君子たる人は、賢を尊ぶ一方で広く一般の人々を容れる（寛大な心をもつことが大切である）。バランスがとりにくい字ばかり。寸・貝・谷・采の位置や大きさ、書線の太細、角度に深い注意をはらうことが大切。

密

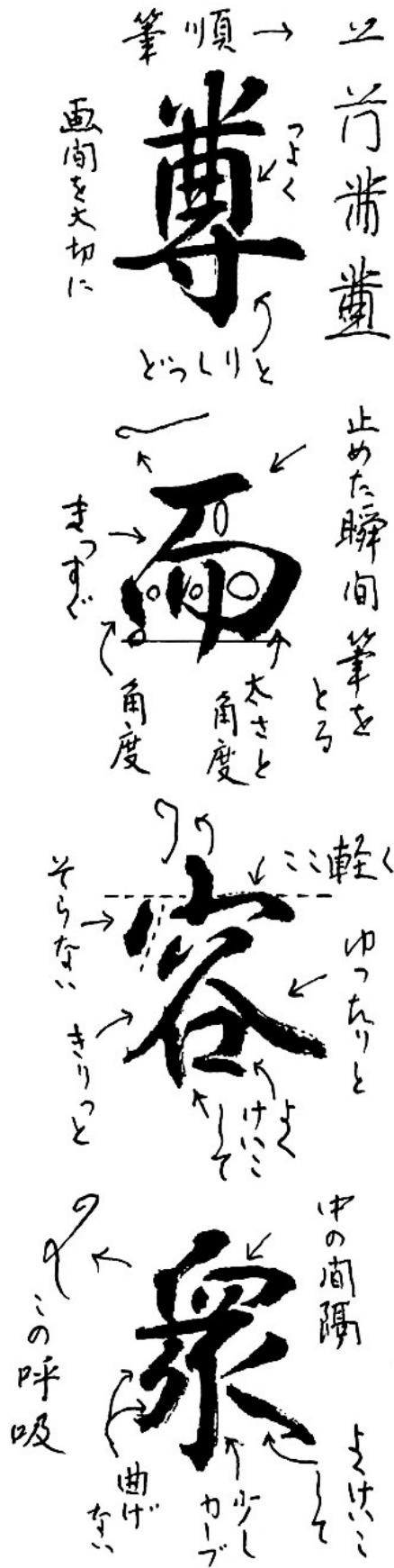
博

衆

慎

而

書き方のポイント（四字抜粹）



読み

尊<sub>けん</sub>レ賢<sub>を</sub>而容<sub>と</sub>レ衆<sub>じゆう</sub> 『論語』 子張<sub>しちょう</sub>

「子張曰 異乎吾所一<sub>レ</sub>聞 君子尊<sub>レ</sub>賢<sub>を</sub>而容<sub>レ</sub>衆 嘉<sub>レ</sub>善<sub>を</sub>而矜<sub>二</sub>不能<sub>一</sub>」

（子張曰く、

吾<sub>わ</sub>が聞<sub>く</sub>所<sub>に</sub>異<sub>なり</sub>。君子<sub>は</sub>賢<sub>を</sub>尊<sub>び</sub>て衆<sub>を</sub>容<sub>れ</sub>、善<sub>を</sub>嘉<sub>し</sub>て不<sub>能</sub>を矜<sub>む</sub>（あわせむ）

通釈  
君子たる人は、賢を尊ぶ一方で広く一般の人々を包容する（寛大な心をもつことが大切である）。

解説  
楷書よりいく分バランスはとりやすいが、寸・貝・谷・采の書線や位置に充分注意して、じっくり書きこもう。

家

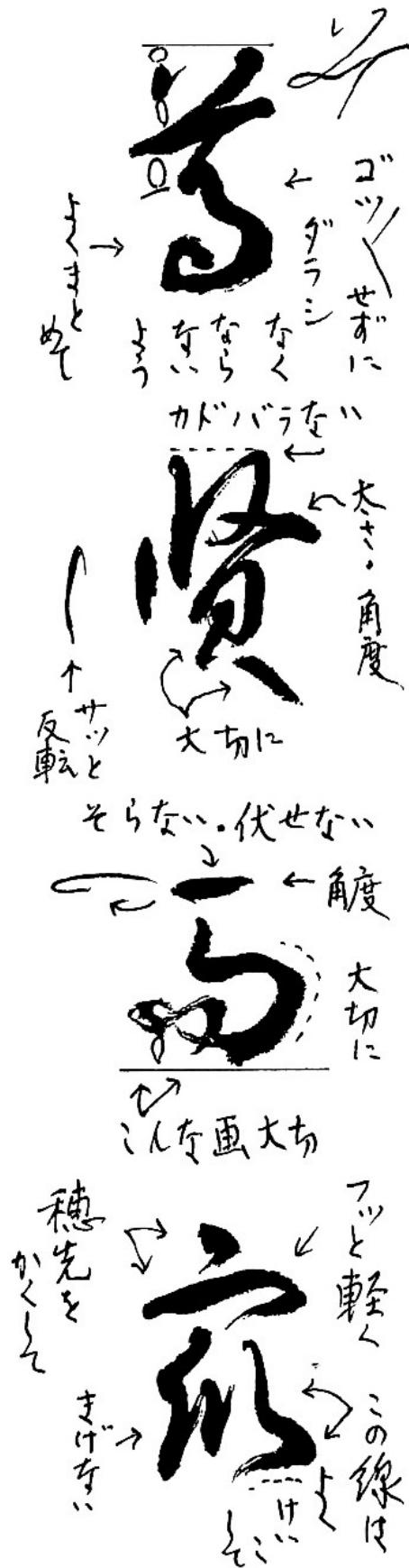
老

家

老

一

## 書き方のポイント（四字抜粋）



### 読み

尊<sup>けん</sup>をたつとびてしやうをいる  
尊<sup>けん</sup>レ 賢<sup>しやう</sup>而<sup>と</sup>容<sup>ゆう</sup>レ 衆<sup>しゆう</sup> 『論語』子張<sup>しちょう</sup> 「子張曰 異<sup>い</sup>乎吾所<sup>一</sup>レ聞<sup>る</sup> 君子尊<sup>レ</sup>賢<sup>しやう</sup>而<sup>と</sup>容<sup>ゆう</sup>レ 衆<sup>しゆう</sup> 嘉<sup>レ</sup>善<sup>よみ</sup>而<sup>と</sup>矜<sup>いわれ</sup>レ 不能<sup>二</sup>」 (子張曰く、

吾<sup>わ</sup>が聞く所<sup>に</sup>異<sup>なり</sup>。君子は賢<sup>しやう</sup>を尊<sup>ぶ</sup>一方で広く一般の人々を容<sup>れ</sup>、善<sup>よみ</sup>を嘉<sup>して</sup>不能<sup>を</sup>矜<sup>ひるむ</sup>。

**通訳** 君子たる人は、賢<sup>しやう</sup>を尊<sup>ぶ</sup>一方で広く一般の人々を容<sup>れ</sup>する（寛大な心をもつことが大切である）。

**解説** 草書は画数が少なくてラクだと思うのは誤り。書線の変化や練度、運筆の呼吸、字形、墨調の巧拙が問われる。